

# 令和7年度 第1回長浜市市民協働推進会議 次第

令和7年7月30日（水）午後1時30分～  
長浜まちづくりセンター 2階2AB会議室

## 1 開 会

## 2 議 事

- ・ 市民協働推進計画に基づく市民協働の仕組みづくりについて
  - （1）令和7年度の取組状況について
  - （2）定性的な指標の把握方法について
  - （3）推進体制について
- ・ 長浜市総合計画の策定に向けて

## 3 その他

## 4 閉 会

## 目次

### 市民協働推進計画に基づく市民協働の仕組みづくり

- (1) 令和7年度 of 取組状況について
- (2) 定性的な指標の把握について
- (3) 推進体制について

# 市民協働推進計画に基づく市民協働の仕組みづくり

## (1)令和7年度の実施状況について

### ①みんなで話し合う仕組みづくり

話しやすい雰囲気をつくることや話し合いのプロセスを可視化するなど、みんなが意見を自由に出し合える、話し合いの仕組みをつくりま



# (1)①みんなで話し合う仕組みづくり



## ■■話し合いの場づくりの普及啓発・支援

【令和7年度実施状況・予定】

### ■市役所内での啓発

「会議力向上」と題し、話し合いの場の見直しを支援する出前講座開設・実施。

6月26日 財政課・田園整備課／8月22日 児童発達支援センター 今後随時受付

### ■地域づくり協議会向け啓発

それぞれの地域で活用できる話し合いの手法を啓発

5月16日 地域づくり協議会代表者会議(課題整理の手法を学びながら意見交換)

[参加者:38人]

7月16日 地域活力プランナー連絡会(相談対応の研修)

[参加者:17人]

## ■■話し合いの場づくりができる人材の育成

【令和7年度実施状況・予定】

■地縁による団体や、市民活動団体にも話し合いの場づくりに関する伴走支援を実施予定



▲出前講座の様子(財政課)



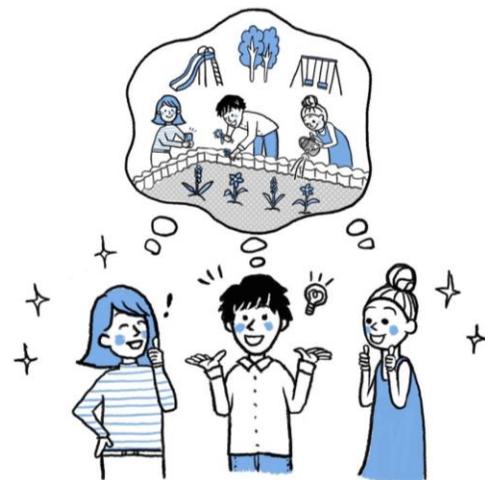
▲R7第1回  
地域づくり協議会代表者会議の様子

# 市民協働推進計画に基づく市民協働の仕組みづくり

## (1) 令和7年度の実施状況について

### ②一人ひとりの「やってみよう」を育む 仕組みづくり

市民同士が思いや考えを共有できる場づくりや気軽に地域に関われる機会を増やすことで、一人ひとりの「やってみよう」という気持ちを育んでいく仕組みをつくりま



# (1)②一人ひとりの「やってみよう」を育む仕組みづくり



## ■■市民の思いを共有できる場づくり

### ◆コミュニティカレッジ

- 学びを通して、
  - ①多くの市民が楽しみながら、社会に関心を持つ場
  - ②市民同士がつながり、新たな活動へ飛躍する場
- 実行委員会形式で市民が主役となって事業を企画・実施

### 【令和7年度実施状況・予定】

#### ▪ 学園祭開催

日時: 令和7年11月29日(土)9:30~17:00  
会場: さざなみタウン(長浜市高田町12-34)  
内容: 授業(45分)60コマ ワークショップ(午前・午後)12コマ

#### ▪ 実行委員会開催状況(月1回程度)

新実行委員3名が新たに加。実行委員それぞれの得意分野を活かしチームに分かれ、学園祭に向けて活動  
4月10日/5月16日/6月23日/7月30日……



▲R7センセイ募集チラシ



▲実行委員会の様子



# (1)②一人ひとりの「やってみよう」を育む仕組みづくり



## ■若者起点の取組推進

### ◆長浜市役所まちあそび部

若者(高校生・専門学校生・大学生)の目線で、地域の人と交流しながら、地域のモノ(資源)を使って、まちあそびを楽しみ、まちづくりに繋げていく取組

【令和7年度取組状況・予定】

- 部員数 高校生4人 大学生12人
- (実施したもの)
  - ミーティング…あそびの企画 3回
  - 見学会(6月28日)…新入部員募集のためのまちあそび体験と講演会
- (今後実施するもの)
  - ミーティング…1~2か月に1回程度(まちあそびを企画・運営する)
  - まちあそび…季節ごとに



▲ミーティングの様子



▲見学会の様子

# (1)②一人ひとりの「やってみよう」を育む仕組みづくり



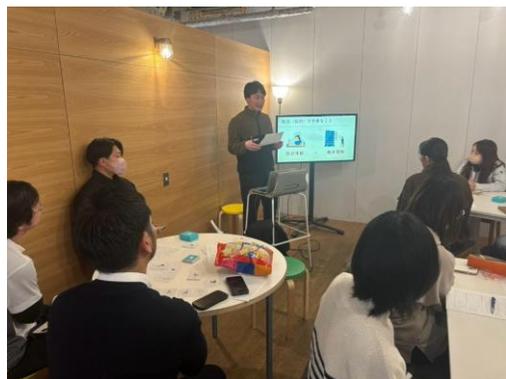
## ■■地域おこし協力隊制度の活用推進

地域おこし協力隊がそれぞれのテーマで活動する中で、一人ひとりの「やってみよう」という思いの実現に寄与

令和4年10月～ 楽しみながら地域に関わる大学生のネットワークづくり



中村隊員



令和5年11月～ 長浜市内でのシェアリングエコノミーの普及



辻本隊員



# (1)②一人ひとりの「やってみよう」を育む仕組みづくり



## ■■オープンデータの活用推進

- デジタル技術の進展により、専門的な知識がなくても、公開されているデータ(オープンデータ\*等)を活用し、誰でも簡単に便利なサービスを作り、地域の課題解決につなげることができる可能性が広がってきている。
- 市民にとって身近なテーマを取り上げながら、オープンデータの活用イメージや可能性を周知し、データを活かした取組が広がることをめざす。

### 【令和7年度実施状況・予定】

#### 身近なテーマによる「オープンデータ活用イメージ」についての周知・啓発

- 昨年度、長浜城下町まちづくり勉強会の取組みと連携しまちあるきイベントを実施。長浜城下町遺産として登録されている名所を撮影し、WEB上の地図サービスに情報をマッピングした。

参加者数:14名

- 昨年度のイベント参加者がオープンデータの活用による地域づくりに関心を示されているため、今年度の取組に繋がられないか検討中。

**デジタルの力で! 地域の魅力発信**

contents (内容)

STEP1 予読を学習(読書)  
デジタルとまちづくりについて知ろう!  
STEP2 まちあるき  
長浜城下町遺産を巡ろう!  
STEP3 ワークショップ  
撮影した写真をデータベースに掲載!

講師: ワークショップ講師  
山下 謙吾 氏  
太田 清司 氏

**3月22日(土)**  
13時00分~17時00分  
長浜家づくりセンター(全席座席)  
【長浜市長官邸の南隣り(敷地No.34号) まで徒歩5分以内】

定員 先着20名程度  
持ち物 スマートフォンまたはタブレット、パソコン  
参加費 無料  
申込書 申込フォームでお申込みください(3月19日(水)まで)

【主催・問合せ】長浜市市民協働部市民生活課  
TEL:0764-92-5711

【協力】Code for Kusatsu(コード・フォー・クサツ) 講師・支援 長浜城下町まちづくり勉強会

### ▲令和6年度イベントチラシ

# 市民協働推進計画に基づく市民協働の仕組みづくり

## (1) 令和7年度 of 取組状況について

### ③ 関わりやすさで人を呼び込む 仕組みづくり

気軽に立ち寄れる空間の提供や積極的な情報の公開・発信、慣習・運営方法の見直しなど、多様な人が参加しやすい・関わりやすい環境をつくり、人を呼び込む仕組みをつくりま



# (1)③関わりやすさで人を呼び込む仕組みづくり



## ■関わりやすい環境づくりの推進

### ◆地域づくり協議会の取組支援

担い手不足が深刻化。関わる心理的なハードルを下げ、これまで関わっていない人との関わりをつくるため、関わりやすい環境づくりを支援

【令和7年度取組状況・予定】

#### 地域活力プランナーの設置

■集落支援員制度(総務省)を活用し、地域活性化を進める人材として14地域に25人の地域活力プランナーを設置

■4月23日(水) 令和7年度委嘱式開催

■地域活力プランナー同士の相互理解、応援し合える関係構築の場「連絡会」を3回開催

7月16日(水):研修・情報共有・相談対応 [参加者:19人]

11月 :活動中間報告・事例紹介・意見交換

3月 :活動報告会(活動報告・意見交換)

#### その他の地域づくり協議会への支援

■市民協働センターによる相談対応・運営支援



▲地域活力プランナー



▲おしゃべり&アイデア大会  
[参加者:のべ64人]



▲彼岸花を植えよう(協議)



▲森つながりのミーティング

# (1)③関わりやすさで人を呼び込む仕組みづくり



## ◆地域における女性の参画推進事業

地域自治組織(自治会、地域づくり協議会など)では、担い手不足が深刻化。一方で、その運営は主として男性がとりしきり、女性が補助的な役割を担う傾向がある。女性を含め、地域づくりに様々な人が関わることで、新しい考えや、面白いアイデアが生まれ、よりオープンで活気ある地域社会の実現に繋がっていくことが期待でき、多様な関わりを進める取組の1つとして実施。

### 【令和7年度取組状況・予定】

#### ①講座・ワークショップ(女性の参画を進める連続講座)実施(3回開催)

地域の身近なテーマで地域の女性参画を考える講座・ワークショップを開催。  
・第1回 7月26日(土)

#### ②アドバイザー派遣

女性参画を検討している自治会・地域づくり協議会に専門的知識・経験のあるアドバイザーを派遣。(8月より申込受付開始)

#### ③啓発紙(ともまち新聞)の発行(4回)

各地域の女性参画の現状・女性参画に取り組んでいる地域の情報、滋賀県立大学の学生による地域の方へのインタビューを掲載、自治会組回覧を中心に配付。(8月より配付開始)

自治会別	女性参画率	女性参画率	女性参画率
大津市	22%	23%	23.8%
彦根市	20%	4%	20.0%
甲賀市	7%	17%	23.9%
東近江町	10%	10%	20.0%
新井町	8%	18%	13.6%
高島町	4%	8%	14.6%
彦根市	20%	4%	13.6%
大津市	4%	4%	13.6%

▲ともまち新聞(第1号)

令和7年度 地域の女性参画を進める連続講座No.1  
見過ごされる視点  
女性参画で強化する  
地域防災力

参加費 無料 定員 30名

7月26日(土) 13:00-15:30  
神楽まちづくりセンター 会議室AB (神楽町286-1)

内容 講演・ワークショップ 講師 鎌倉真智子氏

▲第1回講座チラシ

# (1)③関わりやすさで人を呼び込む仕組みづくり



## ◆まちづくりセンターの環境整備

- 地域づくりの拠点となるまちづくりセンターについて、老朽化や耐震性などの課題を抱える「神田まちづくりセンター」を整備

令和5年9月～令和7年3月 改築工事

令和7年4月～ グランドオープン



▲神田まちづくりセンターの竣工記念イベントの様子

## ◆指定管理者制度による地域の特徴を活かしたまちづくりセンターの運営

- 19のまちづくりセンターのうち17が指定管理者制度を活用
- 各施設において、地域の特徴を活かし、まちづくりセンターに人を呼び込む取組を実施  
(カフェの運営、地元で作られた野菜の販売等)



▲“みんなでつくる市民協働チャンネル「こほくらす」”より引用

# (1)③関わりやすさで人を呼び込む仕組みづくり



## ■■情報発信の支援

### ◆市民活動をメディアに発信「“みんなが”定例記者発表」

- 市内で、地域活動・市民活動、地域福祉活動、生涯学習に取り組む方が、日ごろの活動の内容や活動に込めた思いを、新聞等のメディアに共同で記者発表する場。
- 活動されている方から、活動が知られていない、団体の認知度が低い、活動をPRする場がないなどといった声を受け企画
- 偶数月第1木曜日に開催予定(年6回)
  - 新聞記事等として取り上げられる活動が増加
  - 記者発表をした団体同士の交流の場としても機能



▲定例記者発表での写真撮影

### ◆4/3発表(4団体)

- ピュアプラス
- 鍛冶屋太閤踊り保存会
- わたSHIGA輝く障スポ「ボッチャ」  
審判員西堀正さん
- 余呉地域づくり協議会

### ◆6/5発表(5団体)

- IkaLink(市民協働事業)
- Stay Forest
- 戦争体験を語り継ぐ会
- Breeze Town BigBand
- 浅井湯田地域づくり協議会

# (1)③関わりやすさで人を呼び込む仕組みづくり



## ◆SNS等による情報発信

- FacebookやInstagramを活用し、各種団体の活動を発信
- 「なごはまFM」で定期的に協働センターや団体活動を発信
- 市民活動団体や地域づくり協議会に対して適宜、情報発信



## ◆活動団体の情報収集・掲載

- 市内で活動する市民活動団体などの情報の収集と発信  
市民協働センター登録団体数:85団体(R7.6月末時点)
- 「つくる未来展 アンコール！」の開催(米原市主管／びわ湖東北部地域連携協議会)  
団体紹介パネルを展示。4～6月に3会場で開催(長浜市役所、浅井文化ホール、高月まちづくりセンター)



## ◆ローカルメディアと連携した情報発信 “みんなでつくる市民協働チャンネル「こほくらす」”配信

- 地元のローカルメディアと市との市民協働事業として、地域づくり協議会や市民活動団体の取組を、インターネット番組「こほくらす」としてYouTubeで発信(奇数月第4土曜日18時～、6回配信予定)
- 令和7年度の発信内容は次のとおり  
地域:七尾、神田(予定)、下草野(予定)
- 動画撮影と編集のワークショップ開催(初級編2回、中級編3回)



# (1)③関わりやすさで人を呼び込む仕組みづくり



## ◆多様な大学生が集うコミュニティづくり事業

- 田根地区では、平成19年から慶應義塾大学をはじめ、様々な大学と連携した取組を実施しており、令和4年に地域おこし協力隊が着任して以降は、多様な大学とのつながりが生まれ、大学生同士のコミュニティができている。
- この流れを踏まえ、大学生のコミュニティを広げていき「大学生が集うまち」というイメージをつくり、多くの大学生が長浜市を訪れ、地域内で新たな取組みが生まれ、地域だけでは対応が困難なことも大学生の力を借り解決につなげていくことができる。
- 本事業では大学と地域の連携をさらに推進し、多様な大学生が集うコミュニティを形成し、地域と持続的な関係を築き、地域力の活性化をめざす。

### 【令和7年度予定】

- ・慶應義塾大学 小林研究会
- ・東京大学 フィールドスタディ型政策協働プログラム
- ・専修大学 大崎ゼミ
- ・早稲田大学 地域連携スタディツアー
- ・人間環境大学
- ・立正大学 地域発展委員会
- ・長浜バイオ大学 CELL部等
- ・その他、昨年度関わった早稲田大学生が、提案実行に向けた取組を企画中
- ・田根地区を拠点に、大学生のコミュニティが生まれてきたが、この流れを長浜市全体に広げるため、地域づくり協議会の代表者や地域活力プランナーに田根地区の取組を紹介。



▲8月フィールドワークの様子

# 市民協働推進計画に基づく市民協働の仕組みづくり

## (1)令和7年度の実施状況について

### ④多様な主体をつなげる・支える 仕組みづくり

中間支援機能の強化・充実を図っていく中で、中間支援組織間の連携を進めるなど、多様な主体をつなげる・支える仕組みをつくります。



# (1)④多様な主体をつなげる・支える仕組みづくり



## ■中間支援機能の強化・充実

### ◆市民活動に役立つ「学びの4レンチャン」開催予定

- 市民活動をされている方に実践的な学びを深めるためのセミナーを連続開催予定
- 10月～12月で4つのセミナーと2つのスピノフ企画を開催予定

### ◆長浜市社会福祉協議会との連携

「市民活動団体・ボランティア団体伴走支援事業 +カ<sup>3</sup> チカラキュービック」

長浜市社会福祉協議会ボランティアセンターと合同で団体を伴走支援中

(伴走支援団体)戦争体験を語り継ぐ会、Stay Forest 他

→事業計画、活動紹介、会員募集、助成金申請等をサポート



▲定期相談を活用した伴走支援

### ◆他課との連携「まちと人の学びの第1歩①～ 空き家～」開催予定

- 地域の課題について、テーマごとに関係団体や機関が集まり情報共有や意見交換を行う勉強会
- 8/22 住宅課、長浜市移住定住促進協議会、地域づくり協議会が参加予定

### ◆滋賀県北の近江振興事務所との連携

「誰でもチャレンジできる！クラウドファンディングセミナーin湖北」

- クラウドファンディングの基礎セミナーで、基礎知識や経験者談の深掘りで学びます
- 7/24 セミナー後に、滋賀県北の近江振興事務所と合同で相談会を開催



# (1)④多様な主体をつなげる・支える仕組みづくり



## ■■市民協働事業の推進

### ◆市民協働事業

- 多様な主体の協働による地域の課題解決をさらに推進するため、令和5年度より事業の提案段階から実施に至るまで団体と市の担当部署が連携・協力しながら取り組む市民協働事業を実施
- 市民協働事業を通して、市民と行政が協働するきっかけにするとともに、課題解決につながるような協働事例の創出を図る
- 事業が開始してから年数が浅く、市民と行政の双方が活用しやすい事業となるよう、適宜事業の見直しを図っている

### ○令和6年度の実績

	エントリー	事業提案	採択
市民提案型	15	13	12
行政提案型	6	5	3

#### 【見直し内容】

- ・補助対象経費に人件費を追加
- ・プレゼン方法の変更

### ○令和7年度の予定

	エントリー	事業提案	採択
市民提案型	18	12	12
行政提案型	3	3	3

#### 【見直し内容】

- ・提案事業募集の流れを見直し

#### 【その他】

- ・事前相談会を実施

# (1)④多様な主体をつなげる・支える仕組みづくり



## 令和7年度行政提案型協働事業一覧

	提案団体名	提案区分	事業年数	事業名称	市担当部署
1	長浜セレモニー株式会社	行政	1年目	健康生き生き終活フェア	長寿推進課
2	IkaLink	行政	1年目	子育て応援図書館～高月図書館こども・子育て応援事業～	生涯学習課
3	湖北市民会議	行政	2年目	若者にとって魅力的な文化・スポーツ環境構築事業	文化スポーツ課

## 令和7年度市民提案型協働事業一覧

	提案団体名	提案区分	事業年数	事業名称	市担当部署
1	コルミオ・フィルム	市民	1年目	ナガハマ映画祭	文化スポーツ課
2	医療法人堤整形外科	市民	1年目	「一歩前進、自分の体力を」 ～体力測定会を通じて～	健康企画課
3	長浜城下町まちづくり勉強会	市民	2年目	「長浜城下町遺産」選定・活用事業	文化観光課
4	長浜まちなか地域づくり連合会	市民	2年目	長浜まちなか・こどもDoまんなかひろば	文化福祉プラザ室
5	多賀にゃん	市民	2年目	猫多頭飼育崩壊に関連した地域環境保全支援	環境保全課

# (1)④多様な主体をつなげる・支える仕組みづくり



## 令和7年度市民提案型協働事業一覧

	提案団体名	提案区分	事業年数	事業名称	市担当部署
6	対話型教育グループいろりば	市民	2年目	きょういくを対話しよう！学びの機会を創出事業	教育指導課
7	NPO法人湖北じんけんネットワーク	市民	3年目	人権学習は、人と人をつなぐ幸せの学習 サード	人権施策推進課
8	特定非営利活動法人はまかる	市民	3年目	中高生のための演劇サークル「STAGE」の継続運営	文化スポーツ課
9	長浜ポップカルチャー推進協会	市民	3年目	長浜ポップカルチャーコンテンツ推進事業	文化スポーツ課 未来こども若者課
10	特定非営利活動法人STUDIOこほく	市民	3年目	インターネット番組「みんなで作る市民協働チャンネル『こほくらす』」	市民活躍課
11	田根地区・地域づくり協議会	市民	3年目	夢を見つけたねプロジェクト ～「中1ギャップ」をなくそう～	生涯学習課 教育指導課
12	特定非営利活動法人ふれんど	市民	3年目	ふれんど・「健康ながはま21」健康づくり推進計画 応援隊2025	健康企画課 健康推進課

# 市民協働推進計画に基づく市民協働の仕組みづくり

## (1) 令和7年度の実施状況について

### ⑤ これからの共有を広める 仕組みづくり

個人や団体・組織の場所、モノ、スキルなどの資源をインターネットを介して共有するシェアリングエコノミーを広めるなど、これからの共有の形を広めていく仕組みをつくります。



# (1)⑤これからの共有の形を広める仕組みづくり



## ■■シェアリングエコノミー※の普及

### 【令和7年度取組状況・予定】

#### ①オンライン勉強会への参加

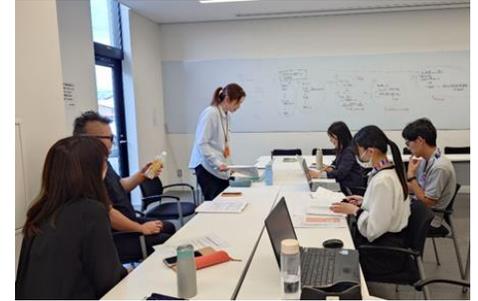
- シェアリングシティ推進協議会主催(目的:更なる事例創出)のオンライン勉強会に情報収集や事例創出のため職員が参加。
- 自治体、事業者の事例発表中心／関係部署に情報共有

#### ②セミナー等の開催

- シェアリングエコノミーの理解促進、活用事例創出をめざし、市主催のセミナー・研修を市民・市職員向けに実施予定
- 既存のコミュニティへのアプローチ

#### ③地域おこし協力隊による推進

- 令和5年11月より「長浜市内でのシェアリングエコノミーの普及」をテーマに地域おこし協力隊活動
- 市内で活動する中で、シェアサービスの活用可能性を模索
- 地域の人と共に、シェアに興味のあるコミュニティを構築し、活用事例創出
- 地域おこし協力隊と連携したシェアリングエコノミーの普及について、シェアリングシティ大賞にエントリーし、事例共有



▲既存のコミュニティへのアプローチ  
(ファミリー・サポート・センター事業にかかる協議へのアプローチ)



▲地域おこし協力隊による  
スペースシェアサービス紹介セミナーを開催  
[参加者:15人]

※シェアリングエコノミー:個人が保有する場所、モノ、人、スキル、乗り物、お金などの使われていない資源を、インターネットを使って個人間で貸借や売買、交換することで、有効活用する経済の動き。

# (1)⑤これからの共有の形を広める仕組みづくり



## ■ ■ 新たなお金の流れの創出に向けた調査・研究

### ◆ 調査・研究

【令和7年度予定】

持続可能な活動・地域づくりのための資金調達にむけ、新たなお金の流れの創出に向けた調査研究の実施  
先進事例調査、市内各地域・団体での取り組みなどの確認 等

### ◆ ファンドレイジング講座

【再掲(P6)】

②一人ひとりの「やってみよう」を育む仕組みづくり)

- ソーシャルビジネスセミナーにて、『ファンドレイジング講座』開催予定

### ◆ 滋賀県北の近江振興事務所との連携

「誰でもチャレンジできる！クラウドファンディングセミナーin湖北」

【再掲(P18)】

④多様な主体をつなげる・支える仕組みづくり

- クラウドファンディングの基礎セミナーで、基礎知識や経験者談の深掘りで学びます  
7/24 セミナー後に、滋賀県北の近江振興事務所と合同で相談会を開催

### ◆ 相談随時受付

ながはま市民協働センターで資金調達に関する相談を随時受付

# 市民協働推進計画に基づく市民協働の仕組みづくり

## (2) 定性的な指標の把握について

## (2)定性的な指標の把握について

### 計画の指標

関わりが多様化や各仕組みづくりに基づく事業の取組状況、市民の協働への意識や市民活動の変化を捉えるため、定性的・定量的な指標を設定しています。

#### 【定性的な指標】

指標	把握方法
関わる人や関わり方の多様化	・ヒアリング ・アンケート調査
みんなで話し合う場への見直し状況	・ヒアリング
シェアリングエコノミーの普及状況	・ヒアリング ・サービスの登録件数

#### 【定量的な指標】

指標	R5	R11
市民協働センターの相談受付件数	64	80
市民協働事業のエントリーシート提出件数	21	30
市民まちづくりセンターの利用件数(※人口1,000人あたり)	258	270

## (2)定性的な指標の把握について

### 【定性的な指標】

#### 指標：関わる人や関わり方の多様化

各主体(地域づくり協議会・自治会・市民活動団体など)において、関わる人が多様化しているか(若者・女性・移住者など)関わり方が多様化しているか(関わり方に多様な選択肢があるかなど)を把握する

- 把握方法 ①アンケート調査実施( 9月~11月頃)  
②ヒアリング実施 (12月~ 2月頃)  
※アンケート結果を基にヒアリングする。

- 対象 地域づくり協議会  
自治会  
市民活動団体

- 主な内容
  - ・メンバー  
参加しているメンバーが固定化していないか  
若者・女性・移住者等メンバーが多様化しているか、参加しやすい工夫など
  - ・関わり方  
参加方法や・関わり方に多様な選択肢があるか  
参加方法…オンライン・SNS(LINEなど)の参加も可  
無理のない参加しやすい時間・雰囲気の設定  
関わり方…各自の得意(デザイン・会計・情報発信)での参加



## (2)定性的な指標の把握について

### 【定性的な指標】

#### 指標：みんなで話し合う場への見直し状況

会議や集まりなどの話し合う場において、みんなで話し合えるよう工夫しているか、見直しなどを行っているかを把握する



- 把握方法    ヒアリング実施    (12月～2月頃)
- 対象        地域づくり協議会  
              自治会  
              市民活動団体
- 主要内容    普段の会議について  
                  発言しやすさ／可視化／参加しやすさ／役割／目的の共有などについて  
                  見直し状況について
  - ・話し合いの場の定期的な見直しの有無
  - ・見直しのための工夫(参加者への聞き取り／過去の会議の振り返りなど)



# (3)推進体制について

## 計画の推進体制

様々な主体が柔軟な形で議論できる場として「“みん・なが”ミーティング」を定期的で開催し、協働に関して幅広く議論を行いながら、5つの仕組みづくりを推進していきます。

### ◆みん・ながミーティング

柔軟な形で議論ができる場「“みん・なが”ミーティング」実施



▲第1回みん・ながミーティングの様子

### 【令和7年度実施状況・予定】

#### ■第1回

日時:令和7年4月24日(木)16時00分~17時30分

内容:「まちづくりセンター」

※施設を管理・運営する人、利用する人が交流  
アイデアを出し合いざっくばらんに話し合った。  
話し合いの様子・結果について施設長会議など、  
関係者に随時共有している。

[参加者:21人]

#### ■第2回以降……テーマを検討しながら、随時実施

**第1回“みん・なが”ミーティングを開催しました！**

「まちづくりセンターってなに？」「どうやって使ったらいい？」そんな疑問の声がよく聞かれる一方で、まちづくりセンター側は「もっと多くの人に来てほしい」という思いを抱えています。そこで、「使ってみたい」と「使ってほしい」の間にあるギャップを解消するための「まちづくりセンター」をテーマに、まちづくりセンターの職員、参加者、市職員と共にざっくばらんに話し合いました。

**当日の様子**

当日は、21名の参加者が集まりました。2つのグループに分かれ、自己紹介の後、グラウンドルールのもと話し合い、最後にとどのような結果があったか発表しました。

**今日のグラウンドルール**

- ・否定しない、断定しない
- ・アイデアをつなげる
- ・一人1分くらいで

**【利用者目録】**

- ・市内にまちづくりセンターが19施設あることや使っている地域外のまちづくりセンターも使っていたのは知らなかった
- ・自分の企画をまちづくりセンターでできるの？
- ・まちづくりセンターを使ってもいいけど、一歩踏み出したら勇気がある…
- ・もっとまちづくりセンターの情報がほしい！
- ・せっかくイベントをされているのに、参加者が少なくてほしい！もっと広く広報してほしい？

**【まちづくりセンターの職員目録】**

- ・気軽に立ち寄ってほしいのに、なかなか人が来てくれない
- ・イベントなど情報発信はしているはずなのに、あまり知られていない
- ・どんどん使ってほしい！まちづくりセンターでやってみたいことがあれば、気軽に相談してほしい！

**【市職員目録】**

- ・より多くの人にまちづくりセンターに来てほしい！活用してほしい！
- ・まちづくりセンターを通じて、人とのつながりをつくらたい

**気づき**

まちづくりセンター関係職員、利用者、市職員三者が連携し合うことで、それぞれの立場から疑問や思いを共有することができ、もやもやが解消されお互いの理解が深まりました！また、まちづくりセンターにより多くの人に来てもらうためにはどうしたらいいか、一緒に考えるきっかけとなりました。

▲市HPにて第1回の結果報告

MIN NAGA! MEETING!! MIN NAGA! MEETING!! MIN NAGA! MEETING!! MIN NAGA! MEETING!! MIN

**定員 20人**

**第1回テーマ**  
まちづくりセンター

**みん・なが**  
**ミーティング**  
はじめました！

各回のテーマについて  
思いっきりしゃべったり  
じっくり聞いたりする場

**参加無料**

どなたでも参加OK

まちづくりセンターって何？

他の地域のまちづくりセンター誰でも使えるの？

それいいね！一緒に始めよう☆

令和7年  
**4月24日(木) 16:00~17:30**  
神田まちづくりセンター 会議室2(加田町2727)

内容 「まちづくりセンター」について、まちづくりセンター所長や、市職員を交え、ざっくばらんに話し合います。

申込方法 申込フォームまたは電話で下記まで

※地域で暮らす・働く・活動する様々な人とざっくばらんに話し合うことで、協働によるまちづくりを高めたいです。

主催 (申込・問合せ) 長浜市市民生活課 TEL 0749-65-8711

MIN NAGA! MEETING!! MIN NAGA! MEETING!! MIN NAGA! MEETING!! MIN NAGA! MEETING!! MIN

▲第1回チラシ

# 長浜市総合計画の策定に向けて

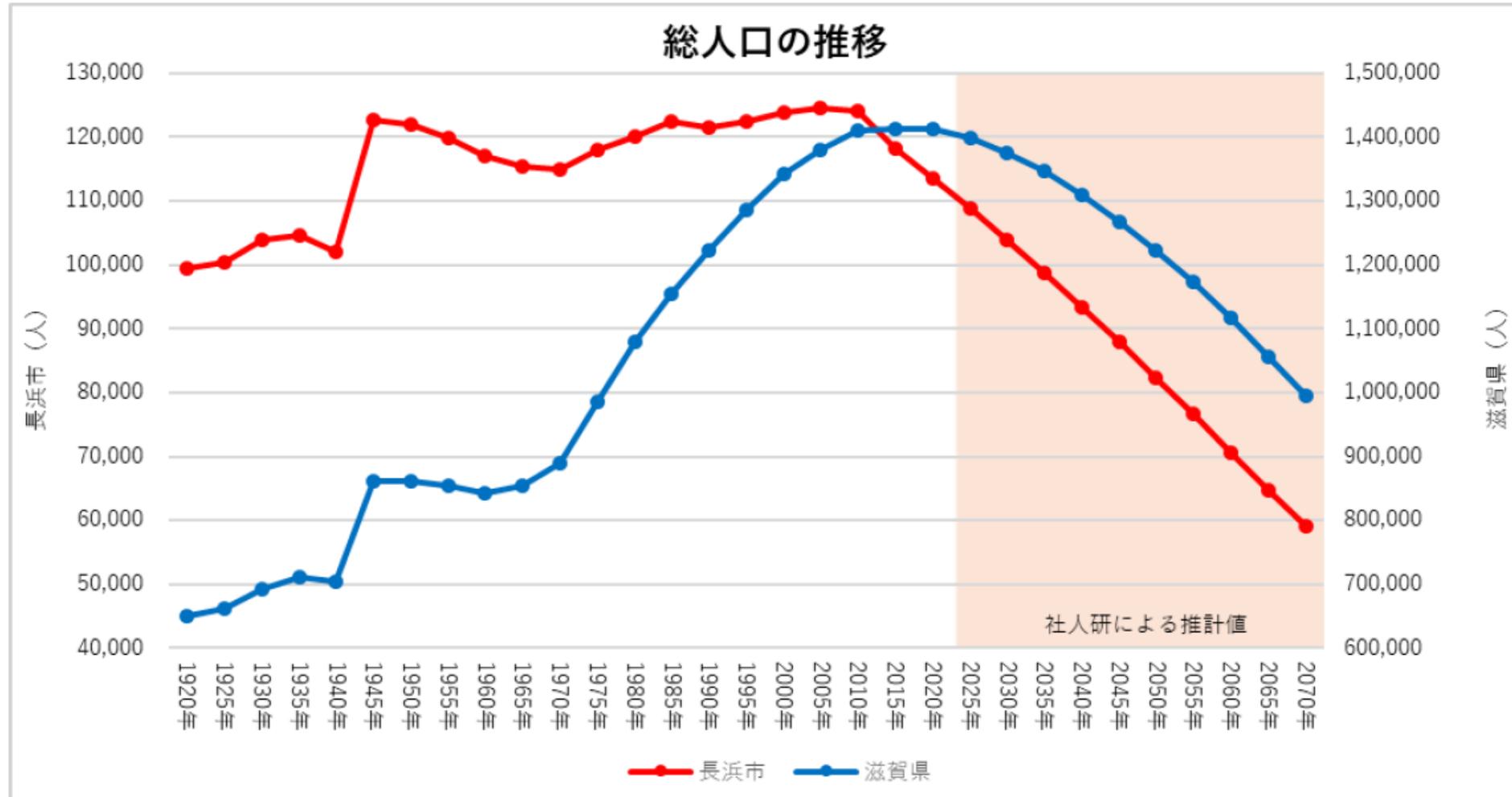
# 1 策定趣旨

本市のまちづくりを進めるうえで、長期的な展望に立った「めざすまちの姿」を明らかにし、その実現に向けて、総合的かつ計画的に行政運営を行うための指針として、平成29年度を初年度とする「長浜市総合計画」を策定したが、その計画期間が令和8年度末をもって終了することから、令和9年度を始期とする次期「長浜市総合計画」を策定します。

# 2 30年後の長浜市の人口はどう変わる？！

■ 2025年 = 112,085人  
(本市住民基本台帳R7.3.1現在)

⇒ 2055年 = 76,609人  
※長浜市の人口が今の約7割に！

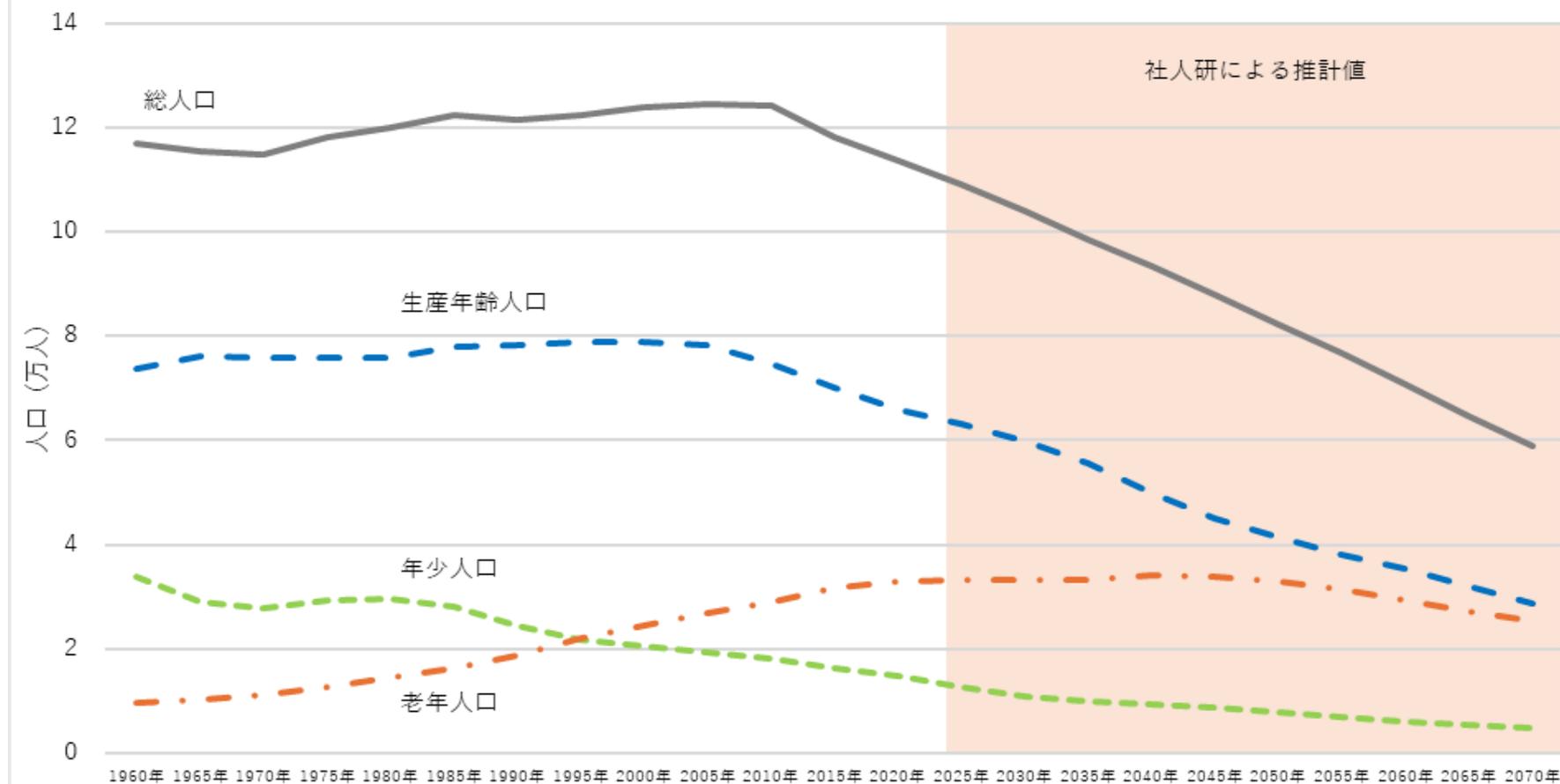


# 2 30年後の長浜市の人口はどう変わる？！

## ■ 年齢3区分別人口の推移

65歳以上人口は一貫して増加傾向にあり、今後もその傾向が続くが、2040年の34,130人をピークに減少に転じる見込みとなっている。

年齢3区分別人口の推移



	2025年	2055年
年少人口	12,260人	6,955人 (56.7%)
生産年齢人口	66,506人	38,226人 (57.5%)
老年人口	33,319人	31,428人 (94.3%)

出典：長浜市人口ビジョン（令和7年3月策定）

# 3 長浜市人口ビジョンにおける本市人口の長期的展望

## ■ 2065 (R47) 年に人口規模73,000人の維持及び人口構造の若返りを目指す。

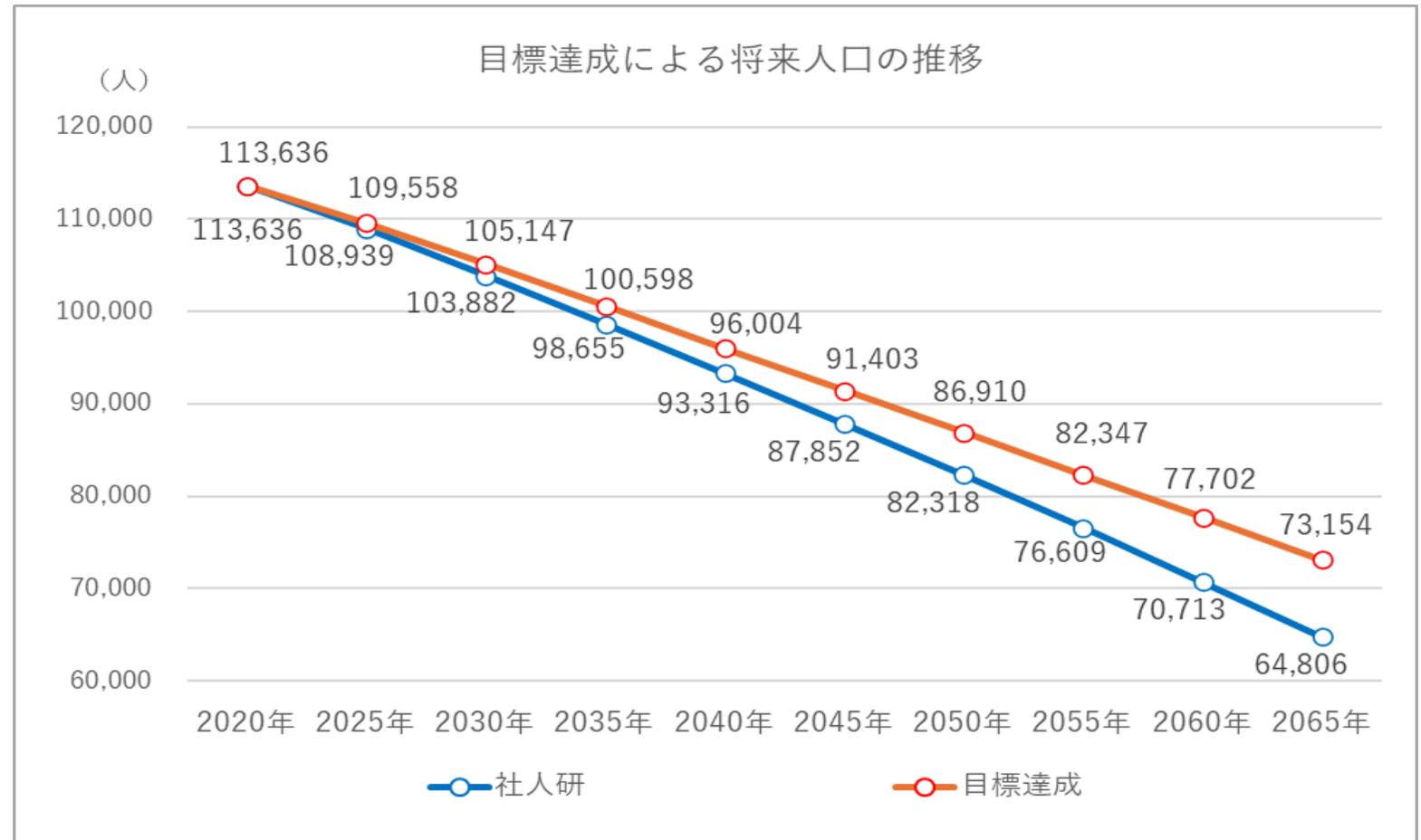
### ※算定方法

内閣府配付のシミュレーション用ワークシート(令和6年(2024年)6月版)を基に、社人研推計(令和5年(2023年)推計)における推計値を用いて将来の5年毎の総人口を試算【自然増減】

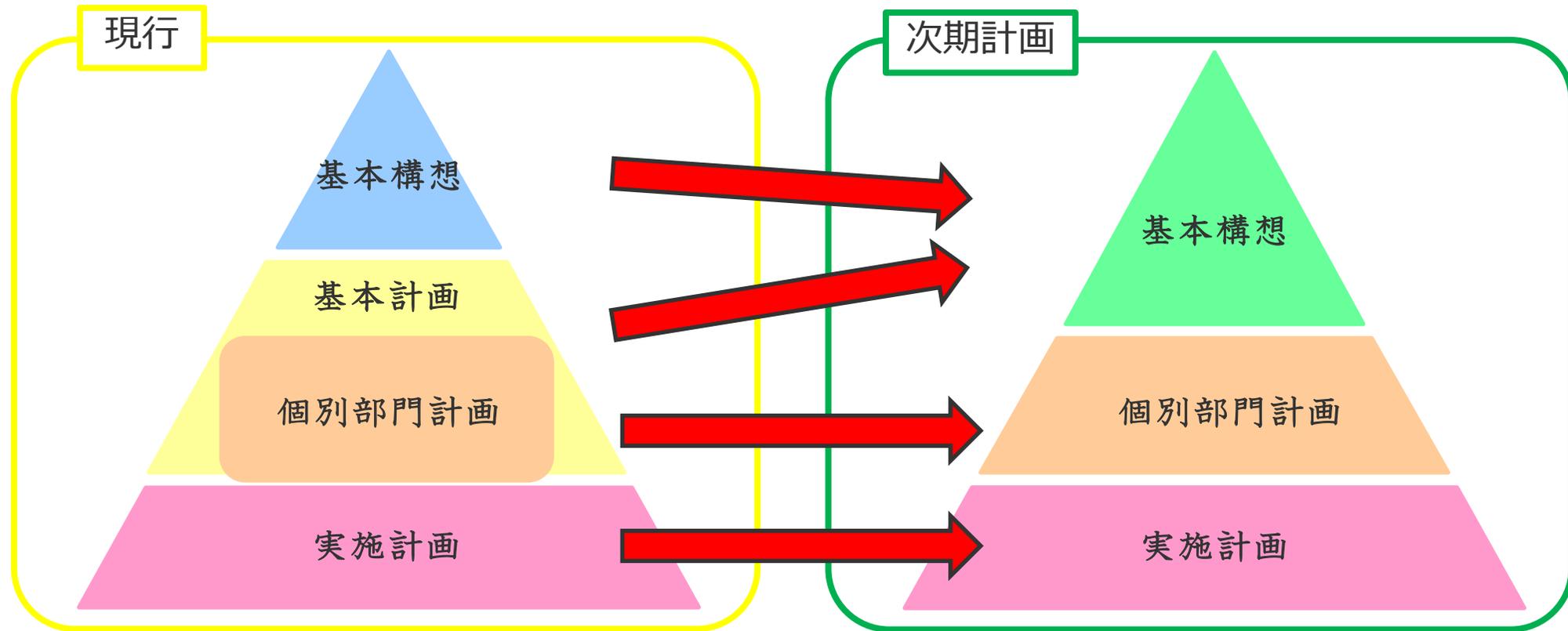
2020(R2)年の出生率を2022(R4)年の1.56と仮置きし、5年で0.005ずつ上昇させると仮定し、2060(R42)年に1.6を達成し、以降は維持。

### 【社会増減】

35-39歳以下の世代が2025(R7)年を基準として、5年間で10%ずつ社会減を緩和。

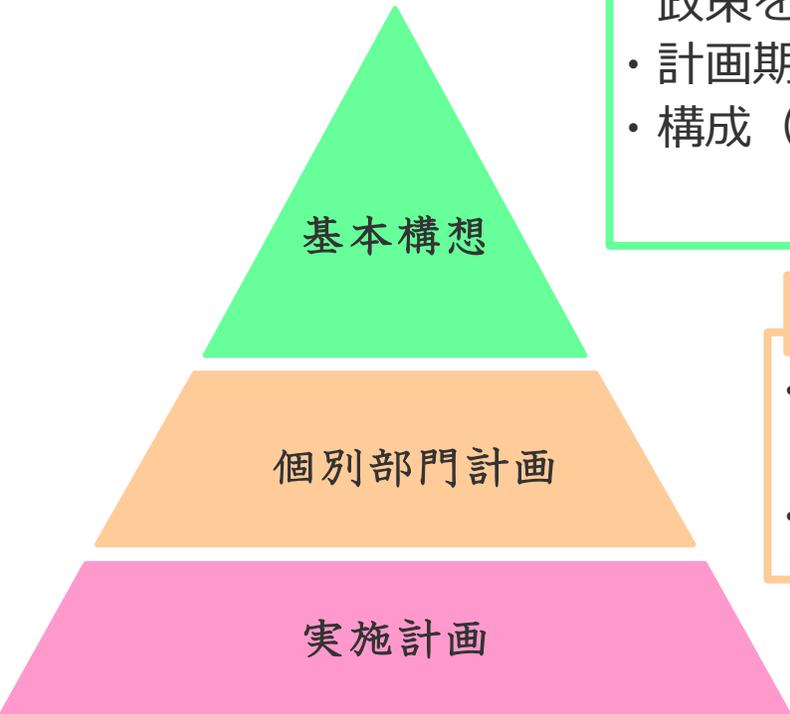


# 4 策定方針



計画体系：総合計画は『基本構想』『個別部門計画』『実施計画』の3階層から構成

# 4 策定方針



## 基本構想

### 基本構想

- ・まちづくりにおいて、めざす将来都市像及び実現に向けて取り組んでいく政策を体系的に定めるもの
- ・計画期間：令和9年度から令和20年度までの12年間
- ・構成（案）：「策定にあたって」、「めざすまちの姿」、「まちづくりの政策」、「構想実現に向けた行政の取組」等

## 個別部門計画

### 個別部門計画

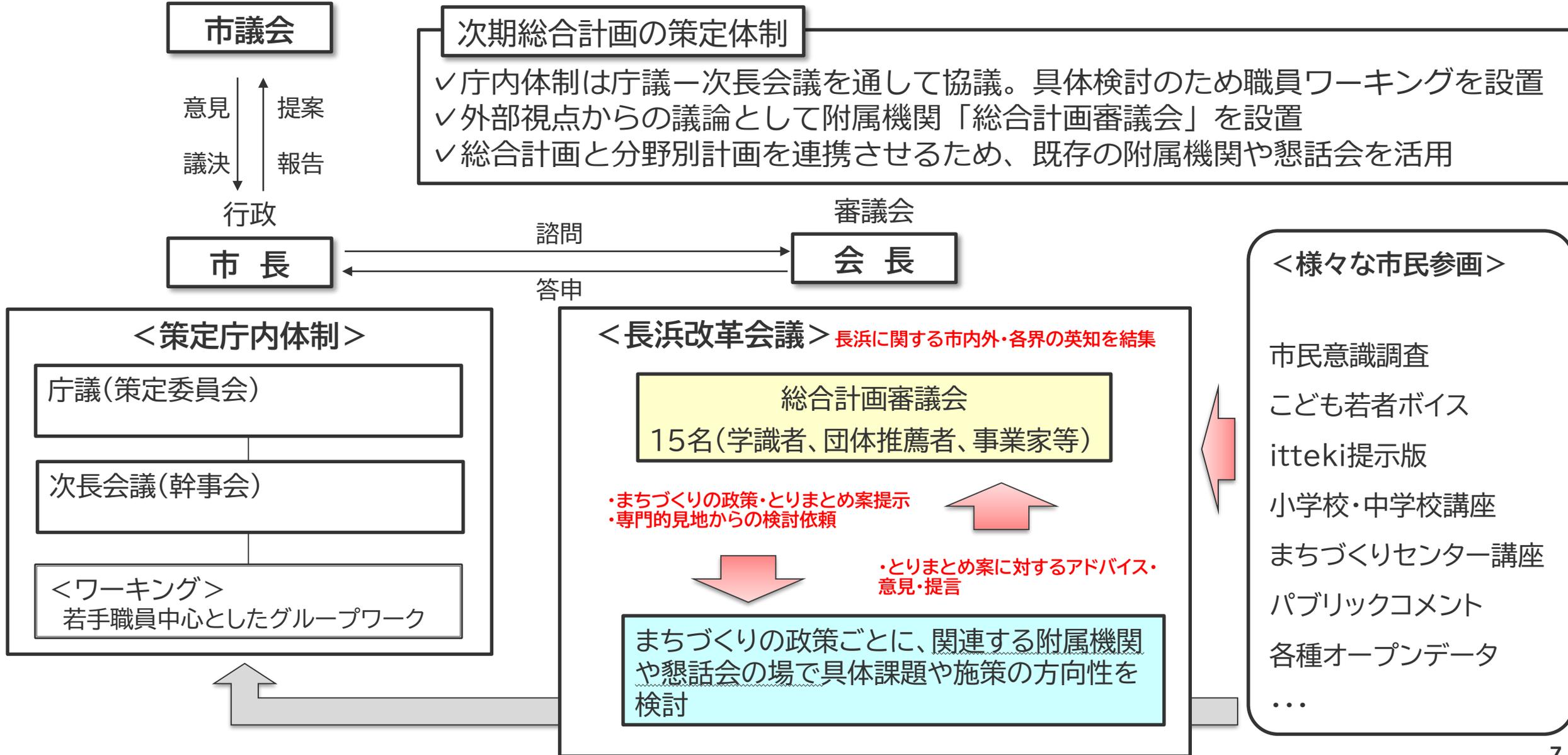
- ・既存や今後策定予定の部門計画において、それぞれの進捗・達成状況を評価するための目標指標を定めるもの
- ・計画期間：個別部門計画による

## 実施計画

### 実施計画

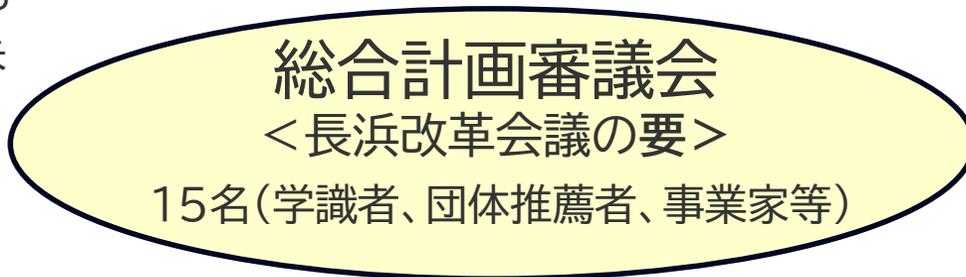
- ・個別部門計画に掲げる目標を着実に達成するため、具体的な事務事業を示し、進捗管理を行うもの
- ・計画期間：毎年度
- ・構成（案）：「事業概要」、「主な指標値」、「予算・決算」等

# 5 策定体制



# 6 長浜改革会議 全体イメージ

総合計画審議会を要にして、各附属機関や懇話会で施策議論を交わし、市の新しい未来を創り上げていく。この議論のつなぎを『長浜改革会議』と総称する。



- 【審議会の役割】
- ・総合計画の全体検討
  - ・めざすまちの姿に必要なまちづくりの政策の検討

・まちづくりの政策・とりまとめ案提示  
・専門的見地からの検討依頼



・とりまとめ案に対するアドバイス・意見・提言

## 【政策のテーマ例】

こども若者

健康医療福祉

歴史自然観光

産業

## 【施策議論する附属機関等】

未来こども若者会議

地域福祉計画検討委員会

環境審議会

観光振興ビジョン懇話会

産業振興ビジョン懇話会

## 【政策のテーマ例】

教育文化

安心安全

進取の気性

## 【施策議論する附属機関等】

教育振興基本計画策定委員会

都市計画審議会

市民協働推進会議

公共施設マネジメント推進委員会

## 【議論の流れ】

- 審議会において、現状課題や未来洞察をふまえ、めざすまちの姿を検討
- めざすまちの姿を実現させるためのまちづくりの政策を検討
- 政策のテーマごとに関連する附属機関等で施策の方向性及び具体の取組を検討

# 7 策定スケジュール

